

| |
|-----------|
| 留 学 報 告 書 |
|-----------|

記入日:2015年09月01日



| | |
|--------------------------|---|
| 所属学部／研究科・学科／専攻 | 経営学部経営学科 |
| 留学先国 | アメリカ |
| 留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語) | 和文: ノースイースタン大学 現地言語: Northeastern University |
| 留学期間 | 2014年9月～2015年5月 |
| 留学した時の学年 | 3年生(渡航した時の学年) |
| 留学先での学年 | 1年生(留学先大学で在籍した学年) |
| 留学先での所属学部等 | D'Amore-McKim School of Business |
| 帰国年月日 | 2015年5月4日 |
| 明治大学卒業予定年 | 2016年3月 |
| 留 学 先 大 学 に つ い て | |
| 形態 | <input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他 |
| 学年暦 | 1学期:9月上旬～12月中旬 2学期:1月中旬～4月下旬 |
| 学生数 | 13204 |
| 創立年 | 1898年 |

| 留学費用項目 | 現地通貨 (ドル) | 円 | 備考 |
|--------|-----------|---------|-----|
| 授業料 | 0 | 0円 | |
| 宿舍費 | 8,900 | 100万円 | |
| 食費 | 4,000 | 48万円 | |
| 図書費 | 150 | 1万8千円 | |
| 学用品費 | 20 | 3千円 | |
| 教養娯楽費 | 1,000 | 12万円 | |
| 被服費 | 500 | 6万円 | |
| 医療費 | 0 | 0円 | |
| 保険費 | 0 | 0円 | 形態: |
| 渡航旅費 | 1,700 | 20万円 | |
| 雑費 | 500 | 6万円 | |
| 合計 | 16,770 | 194万1千円 | |

渡航関連

渡航経路: 成田-ボストン

渡航費用

| | |
|---------|------|
| チケットの種類 | JAL |
| 往路 | 10万円 |
| 復路 | 10万円 |
| 合計 | 20万円 |

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

日本航空を利用

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学の寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 2)

3)住居を探した方法:

大学のハウジングに関するオフィスで相談

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

ノースイースタン大学のオンキャンパスの寮は、大学へのアクセスや安全面等でお勧めします。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった
利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

主に留学生に向けての相談窓口があるので、わからないことがあればそこで質問していました。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

現地の学生を通して、危険地域の情報は収集しました。ボストンは比較的にアメリカではかなり安全な場所であるため、最低限気を付けていれば、大きな問題に巻き込まれることはないと思われます。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮のインターネットは早く安定的でした。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

デビットカードを利用し、日本の口座から直接お金を引き落としていました。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

ボストンには日本食なども含めて、基本的に何でも揃っています。

進路について

| |
|--|
| 1) 進路 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他: |
| 2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など |
| 3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) |
| 楽天株式会社:IT 企業に勤めたかったため |
| 4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) 就職活動を控えている方は、留学中にも事前にインターネットで業界・企業研究をすることをお勧めします。 |
| 5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。 |
| 6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。 |
| 7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。 |

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

| | |
|---|--|
| 1)留学先で取得した単位数合計 | 本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。 |
| 36 単位 | <input type="checkbox"/> 24 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:) |
| 2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。 | |
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | 履修した授業科目名(日本語): |
| Innovation | イノベーション |
| 科目設置学部・研究科 | 商学部 |
| 履修期間 | 秋学期 |
| 単位数 | 4 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | 講義形式 |
| 授業時間数 | 1週間に 100 分が2回 |
| 担当教授 | Dirk Libaets |
| 授業内容 | いくつかの起業家の事業例をケーススタディを通して、企業プロセスを学ぶ。同時に、グループワークを通して、商品開発プロセスを学ぶ。 |
| 試験・課題など | ケーススタディに関する個人ワークと、各グループによるプレゼンテーション |
| 感想を自由記入 | 授業を通して、起業家に必要な様々な経営戦略理論を学べます。また、グループワークへの比重が多いので、授業時間外で、グループで集まり課題をする時間が多く、ネイティブの学生とコミュニケーションを多く取ることができます。 |

| | | | |
|---------------------------------------|---|-----------------|--|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | | 履修した授業科目名(日本語): | |
| Entrepreneurial Marketing and Selling | | 起業マーケティングと販売 | |
| 科目設置学部・研究科 | 商学部 | | |
| 履修期間 | 2014 秋学期 | | |
| 単位数 | 4 | | |
| 本学での単位認定状況 | 4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) | | |
| 授業形態 | 講義形式 | | |
| 授業時間数 | 1週間に 100 分が 2 回 | | |
| 担当教授 | Cheryl Mitteness | | |
| 授業内容 | 起業を行う際に必要なマーケティング理論を学ぶ。 | | |
| 試験・課題など | 幾つかの商品アイデアを提出する個人ワークを行った後に、各グループが提案された商品アイデアから一つ選び、研究とプレゼンテーションを行う。また、授業を通して紹介されたマーケティング理論に関する筆記テストがある。 | | |
| 感想を自由記入 | 個人とグループにおける課題量が多く大変ではありますが、授業内容がより実践的で面白いため、常に発見を得ることができる授業です。 | | |

| | | | |
|---|--|-----------------|--|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | | 履修した授業科目名(日本語): | |
| Globalization and International Affairs | | グローバリゼーションと国際情勢 | |
| 科目設置学部・研究科 | 国際教養学部 | | |
| 履修期間 | 2014 秋学期 | | |
| 単位数 | 4 | | |
| 本学での単位認定状況 | 4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) | | |
| 授業形態 | 講義形式 | | |
| 授業時間数 | 1週間に 65 分が 3 回 | | |
| 担当教授 | Denis Horn | | |
| 授業内容 | 国際的に問題となっている環境、貧困、犯罪等の問題についてのレクチャーを受ける。 | | |
| 試験・課題など | 各講義をもとに、定期的にネットでディスカッションを行う。また、事前報告なしにクイズが出題されるため、日頃の予習復習が重要。テストは中間と期末に行われる。 | | |
| 感想を自由記入 | 担当教授の講義が大変興味深く、毎授業楽しむことができます。講義の内容はかなり難しい場合もありますが、日頃の予習復習を行っていれば、ディスカッションやクイズにも対応できます。 | | |

| | | | |
|---------------------|--|-----------------|--|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | | 履修した授業科目名(日本語): | |
| Guitar Class | | ギタークラス | |
| 科目設置学部・研究科 | 音楽学部 | | |
| 履修期間 | 2014 秋学期 | | |
| 単位数 | 4 | | |
| 本学での単位認定状況 | 0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) | | |
| 授業形態 | 講義 | | |
| 授業時間数 | 1週間に 65 分が 3 回 | | |
| 担当教授 | Robert Ward | | |
| 授業内容 | 実際にギターを用いて、初心者レベルからクラシックギターの歴史、種類、弾き方等を学ぶ。 | | |
| 試験・課題など | 筆記試験が2回あり、それ以外は楽器を通して実技のテストが行われる。 | | |
| 感想を自由記入 | 私はギター初心者でしたが、主に初心者レベル楽曲を演奏するため、楽しく毎回の授業を受けることができました。 | | |

| | |
|---------------------------------------|---|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | 履修した授業科目名(日本語): |
| Introduction to communication studies | コミュニケーション学入門 |
| 科目設置学部・研究科 | コミュニケーション学部 |
| 履修期間 | 2015 春学期 |
| 単位数 | 4 |
| 本学での単位認定状況 | 4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | 講義形式 |
| 授業時間数 | 1週間に 100 分が 2 回 |
| 担当教授 | Thomas Nakayama |
| 授業内容 | 様々な観点から見た「コミュニケーション」に関する知識を習得する。 |
| 試験・課題など | 定期試験3回とグループワーク |
| 感想を自由記入 | 対人で行われるコミュニケーションのみならず、アメリカのメディアが人々に及ぼすコミュニケーションなどが学べるため、授業内容は興味深いものでした。 |

| | |
|------------------------------------|--|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | 履修した授業科目名(日本語): |
| Business and Professional Speaking | ビジネスコミュニケーション |
| 科目設置学部・研究科 | コミュニケーション学部 |
| 履修期間 | 2015 春学期 |
| 単位数 | 4 |
| 本学での単位認定状況 | 4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | 講義 |
| 授業時間数 | 1週間に 65 分が 3 回 |
| 担当教授 | Michael Davis |
| 授業内容 | ビジネスで必要となるコミュニケーション方法を学ぶ。 |
| 試験・課題など | 定期的にスピーチ、プレゼンテーションのテストがある。また、各テスト原稿の提出も採点材料となる。 |
| 感想を自由記入 | 多くのネイティブの学生が履修しているため、皆の前でスピーチするには緊張しますが、担当教授がとても優しい方で授業時間外に積極的に指導してくれます。 |

| | |
|-------------------------------|---|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | 履修した授業科目名(日本語): |
| History of the Global Economy | 世界経済の歴史 |
| 科目設置学部・研究科 | 経済学部 |
| 履修期間 | 2105 春 |
| 単位数 | 4 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | 講義形式 |
| 授業時間数 | 1週間に 100 分が 2 回 |
| 担当教授 | Mohammad Alam |
| 授業内容 | 世界における経済格差の要因に迫る。 |
| 試験・課題など | 定期試験が 2 回行われ、また 3000 ワードほどのレポート提出が 1 回ある。 |
| 感想を自由記入 | 世界経済の流れというよりは、世界でなぜこれほど経済格差が生じたかについて講義が行われます。内容は難しく、また各テストで課される問題も難易度が高い質問が多く頻出します。 |

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

| | |
|----------------|---------------------------------|
| 2012年 1月～3月 | |
| 4月～7月 | 明治大学入学 留学に関するガイダンスに参加する |
| 8月～9月 | 協定学校を調べ始める |
| 10月～12月 | 語学の勉強開始 |
| 2013年 1月～3月 | 語学勉強 |
| 4月～7月 | 語学勉強 |
| 8月～9月 | 語学勉強 |
| 10月～12月 | IELTS 受験、出願要項を満たす 交換留学出願及び選考 |
| 2014年 1月～3月 | 選考合格 留学先大学との連絡を取り始める |
| 4月～7月 | ビザなどの留学に必要な書類申請 |
| 8月～9月 | 留学先出発 |
| 10月～12月 | 留学先大学で勉学に励む |

留学体験記

| | |
|----------------------------------|---|
| 留学しようと決めた理由 | <p>私は英語力の向上と異文化理解の深化を目的として、留学を決意しました。明治大学に1年間の浪人生活を経て入学しましたが、その期間に出会った英語の先生に刺激を受け、また英語の面白さを感じ、留学を意識し始めました。</p> |
| 留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備 | <p>まずは語学力の向上のために、さらに色々な方法を駆使すべきであったと感じました。TOEFLなどの語学試験の対策を通して英語力を向上する以外にも、日本にいるより多くの外国人の方達と実際に話し、コミュニケーションの取り方を学んでおくと、留学先でも臆せず話しかけていくことができると思います。また実際に留学を行った方にアドバイスを受けることも重要です。留学先での楽しい体験談や辛い体験談を聞くことにより、留学に対する心構えを作ることができると思います。</p> |
| この留学先を選んだ理由 | <p>最先端のビジネスに関する知識の取得を目的とし、アメリカを選びました。またノースイースタン大学を選んだ理由としては、多くの優秀な学生が集まるボストンに位置していること、アメリカ国内での評価が年々上昇していることの2つが主な理由です。</p> |
| 大学・学生の雰囲気 | <p>多くの留学生在籍しているためインターナショナルな環境であり、まさに私が求めていた環境と合致していました。授業や日常生活を通して様々な国々の方達と話し、異文化に関する知識を深めることができます。</p> |
| 寮の雰囲気 | <p>1期目に在籍していた寮の設備はとても良かったのですが、一人部屋ということもあり、月々の寮費が高額でした。そのため寮費を押さえるために、2期目には隣人のアイルランド人と二人暮らしを始めました。それにより、常に英語で話す環境を作ることができました。</p> |
| 交友関係 | <p>1期目に住んでいた寮の隣人と仲良くなり、その子を通して積極的にハウスパーティーなどに参加し、多くの学生と交友関係を築くことができました。また小規模ではありますがフットサルサークルにも参加し、スポーツを通じて友達とコミュニケーションを取りました。</p> |
| 困ったこと、大変だったこと | <p>ネイティブの英語についていくのには大変でした。スピードが早いだけでなく、あまりアジア圏の学生が使わないようなイディオムや単語を使用するので、リスニングに苦しむことが多々あります。またボストンには色々な国々から学生が来るので、各国の英語のなまりを聞き分けるのも大変であり、面白く感じました。</p> |
| 学習内容・勉強について | <p>私は主に起業家に関する授業を履修していました。積極的に発言が求められ、また個人課題・グループワークが膨大なために大変でした。しかし授業時間外にも、積極的に教授の元へ訪れては質問することで、授業の内容も理解できるようになりました。</p> |
| 課題・試験について | <p>日々の読書量は膨大です。またグループワークも同時に課される時期があるため大変です。しかしやればやるほど慣れてきて、少しずつ力が付いてきていることを実感できると思います。</p> |
| 大学外の活動について | <p>フットサルサークルに所属し、学内のリーグ戦にも参加したため、週末は友達と共に汗を流しました。またそれ以外にも、友達の家へ遊びに行くなど積極的にコミュニケーションを取るようになっていました。</p> |
| 留学を志す人へ | <p>留学中は楽しいことも辛いこともたくさんあります。その経験は必ず糧になると思う時が来るので、何事にも積極的にチャレンジしてください。</p> |

一週間のスケジュール(例)

| | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | 土曜日 | 日曜日 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|
| 午前中 | 起床 | 起床 | 起床 | 起床 | 起床 | | |
| | 授業 | 授業 | 授業 | 授業 | 授業 | 起床 | 起床 |
| 午後 | 授業 | 授業 | 授業 | 授業 | 授業 | フットサル | 外出 |
| | 自習 | 自習 | 自習 | 自習 | 自習 | | |
| 夕刻 | ジム | | ジム | | ジム | 外出 | |
| 夜 | 自習・就寝 | 自習・就寝 | 自習・就寝 | 自習・就寝 | 交流会 | 交流会 | 自習・就寝 |